

交通

1	沿	革	295					
2	再	建	計	画	295			
3	軌	道	事	業	296			
4	自	動	車	運	送	事	業	299
5	經	營	状	況	304			
6	職	員	数	及	び	給	与	305
7	施	設	305					

1 沿 革

電車事業は、大正13年8月1日、市民待望の近代的交通機関として、営業路線6.8キロメートル、車両22両をもって開通した。以来市勢の発展とともに路線の拡張を行い、市内交通の主要機関としての役割を果たし、最盛期の昭和38年度では、営業路線25キロメートル、車両87両、年間乗客数4,247万5千人に至っている。

しかし、その後の高度経済成長を契機とした都市構造の変化、モータリゼーションの進展等に伴い、逐年電車は都市交通機関としての機能を喪失し、利用客の減少と相まって順次廃止の運命をたどりバスに転換してきたが、現在なお、2系統12キロメートルを37両の車両で運行している。

一方バス事業は、昭和2年11月23日、電車の補助的交通機関として営業路線18キロメートル、車両17両で発足し、その後都市圏の拡大に伴う利用客の増加に対応して、年々路線の拡充を図ってきたが、企業環境の悪化により昭和44年度をピークに乗客は、毎年減少傾向を示しており、現在営業キロ159.4キロメートル、192両で130系統を運行するに至っている。

2 再 建 計 画

都市交通をとりまく環境の悪化とともに交通事業は、深刻な経営危機に直面するに至ったので、昭和48年度財政再建団体の指定をうけ、15年間にわたる再建計画を策定し、国及び一般会計からの財政援助と企業努力により経営健全化を図ることとなり、この基本方針に沿って鋭意努力を続けている。

しかし、マイカー、二輪車の増加等企业環境は依然としてきびしく、利用客の減少傾向は続いている。

既に再建計画も2年を残すのみとなり将来にわたり安定した経営を図るためには、乗客離れの防止が最大の課題であり、これが対策として専用レーンの拡大等、企業環境の整備とあいまって諸施設の改善、近代化を図り、より、市民に親しまれる市電、市バスを目指して努力している。

3 軌 道 事 業 (大正13年8月1日事業開始)

(1) 輸 送 状 況

事 項 \ 年 度		5 6	5 7	5 8	5 9	6 0
年間輸送人員		10,068,171	9,925,518	9,753,677	9,369,969	9,166,859
年間走行キロ(Km)		1,381,605.4	1,384,183.8	1,402,109.6	1,382,677.0	1,366,840.8
使用車両(両)		6,761.0	6,789.6	6,899.4	6,811.9	6,695.5
利 用 率 (%)		5.1	5.0	4.9	4.7	4.5
乗車料収入(円)		896,162,724	923,730,842	947,794,989	949,508,607	975,396,052
一日平均	輸 送 人 員	27,584	27,193	26,649	25,671	25,155
	走行キロ(Km)	3,778	3,792.3	3,830.9	3,788.2	3,735.6
	使用車両(両)	18.5	18.6	18.9	18.7	18.3
	乗車料収入(円)	2,455,240	2,530,769	2,589,604	2,601,393	2,672,318
一平車一日均	輸 送 人 員	1,489	1,462	1,414	1,376	1,369
	走行キロ(Km)	204.0	203.9	203.2	203.0	203.7
	乗車料収入(円)	132,549	136,051	137,374	139,390	145,679
表 定 速 度 (Km/H)		14.2	14.2	14.2	14.2	14.2

(2) 営 業 路 線

事 項 \ 年 度		5 6	5 7	5 8	5 9	6 0
路 線 延 長 (Km)		12.025	12.023	12.023	12.023	12.023
単 線 延 長 (Km)		0.277	0.277	0.277	0.277	0.277
複 線 延 長 (Km)		11.748	11.746	11.746	11.746	11.746
営業路線延長 (Km)		23.773	23.769	23.769	23.769	23.769
運 転 系 統 (系統)		2	2	2	2	2
停 留 場 数 (カ所)		34	35	35	35	35
停間 留距 場離	最 長 (Km)	0.534	0.534	0.534	0.534	0.534
	最 短 (Km)	0.180	0.134	0.134	0.134	0.134
	平 均 (Km)	0.364	0.353	0.353	0.353	0.353
軌道乗り入れ許可 (カ所) (Km)		1 0.600	1 0.600	1 0.600	1 0.600	1 0.600

(3) 系統別運輸成績

(昭和60年度)

系統	区 間	走行キロ Km	乗車 人員 千人	収 入 千円	費 用 千円	差 引 千円	キロ当たり収支			乗車 効率 %
							収 入 円	費 用 円	差 引 円	
2号	健軍 田崎橋 (9.2Km)	1018,636	7,095	1,148,437	1,108,921	39,516	1,127.4	1,088.6	38.8	35.50
3号	健軍 上熊本駅 (9.4Km)	348,204.8	2,072	360,073	379,163	△19,091	1,034.1	1,088.9	△54.8	30.32
計		1366,840.8	9,167	1,508,510	1,488,084	20,425	1,103.6	1,088.7	14.9	34.25

(注) 乗客1人当たり料金収入
 定期外 113円02銭
 定期 74円77銭
 平均 106円40銭

(4) 電車運行要領 (昭和51年5月20日実施)

項目 \ 系統	2 号	3 号
運 行 区 間	熊本駅前～健軍 (8.7Km) 田崎橋～健軍 (9.2Km)	朝……上熊本駅～神水橋 (7.9Km) (6:52～8:38) 昼夜……上熊本駅～健軍 (9.4Km)
営 業 時 間	6:00～23:15	6:30～22:18
運 転 方 法	ダイヤ運転 夜間帯時間表・表示 (20:00から最終までの時間表を各停留 場に表示)	ダイヤ運転 終日時間表・表示

(5) 在籍車両数

車 両 \ 年 度	56	57	58	59	60
ボギー車 (ワンマン)	33	34	34	33	33
連 接 車	4	4	4	4	4

(6) 運 賃 (昭和59年10月1日改定)

ア 普通旅客運賃

種別 制度	運 賃			団 体 旅 客 運 賃		団体旅客運賃 の 割引適用方法
	大 人 (中学生以上)	小 児 (小学生以下)	特 殊 運 賃	大 人 (中学生以上)	小児及び特殊	
対キロ 区 間 制	最初の2キロまで100円、2キロを超え5キロまで120円、5キロを超え8キロまで140円、8キロを超える時は160円	12才未満の者は大人運賃の半額、6才未満の幼児は保護者同伴の場合に限りその1人は無料とする	身体障害者手帳の交付を受けている者及び介護人、諸施設により養護又は保護を受けている者及び付添人並びに精神薄弱者及び介護人で各各普通運賃の50%割引	50人以上の団体で同時に一定の停留場で乗降する場合(12才以上の団体)	左記の団体で小学生以下の小児及び身体障害者並びに養護施設児童の団体	基準となる普通旅客運賃からその運賃の100分の10以内の額を割引した額

イ 1日乗車券運賃

1日乗車券	運 賃	乗 車 で き る 範 囲	電車バス共通
	大人500円 小児250円	電車全区間・バス区間指定	

ウ 定期旅客運賃

種 別	期 間	キ ロ 数	金 額	割 引 率		
通 勤 (持参人式)	1 カ月	2キロまで	4,200 円	普通運賃を60倍したものから30%割引 (身体障害者は更に30%割引)		
		5キロまで	5,040			
		8キロまで	5,880			
		8キロ以上	6,720			
	3 カ月	2キロまで	11,970	1カ月定期運賃額を3倍したものから5%割引 (身体障害者は更に30%割引)		
		5キロまで	14,360			
8キロまで		16,760				
通学(大人) 中学生以上	1 カ月	2キロまで	3,000	普通運賃を60倍したものから50%割引		
		5キロまで	3,600			
		8キロまで	4,200			
		8キロ以上	4,800			
	3 カ月	2キロまで	8,550	1カ月定期運賃額を3倍したものから5%割引		
		5キロまで	10,260			
		8キロまで	11,970			
		8キロ以上	13,680			
	通学(小児) 小 学 生 身体障害者	1 カ月	2キロまで	1,500	普通運賃を60倍したものから75%割引	
			5キロまで	1,800		
8キロまで			2,100			
8キロ以上			2,400			
3 カ月		2キロまで	4,280	1カ月定期運賃額を3倍したものから5%割引		
		5キロまで	5,130			
		8キロまで	5,990			
		8キロ以上	6,840			
通 勤 通 学		1 カ月	2キロまで	5,100	通勤定期運賃額の2分の1と通学(大人)運賃額の合算額	
			5キロまで	6,120		
	8キロまで		7,140			
	8キロ以上		8,160			
全 線	1 カ月		12,300	最高の普通運賃を180倍したものから54.4%割引		
電車・自動車 共 通	1 カ月			電車と自動車路線が並行している区間を利用するもので、電車と自動車の定期運賃のうちいずれか高額となる運賃		
	3 カ月					

4 自動車運送事業

(乗合 昭和 2 年 1 月 2 3 日事業開始)
(貸切 昭和 6 年 5 月 2 3 日事業開始)
(貸切 昭和 5 4 年 8 月 1 日事業廃止)

(1) 輸送状況

年度 事項		56	57	58	59	60
年間輸送人員		27,124,500	26,001,128	24,623,994	23,286,829	21,817,126
年間走行キロ (Km)		6,933,407	6,975,636	7,032,047	6,931,395	6,737,052
使用車両 (両)		60,820	61,071	61,896	61,044	58,967
利用率 (%)		13.9	13.2	12.3	11.6	10.8
乗車料収入 (円)		2,700,101,810	2,737,171,950	2,748,667,965	2,749,838,235	2,750,140,780
一日平均	輸送人員	74,314	71,236	67,279	63,800	59,773
	走行キロ (Km)	18,996	19,111	19,213	18,990	18,458
	使用車両 (両)	166.6	167.3	169.1	167	162
	乗車料収入 (円)	7,397,539	7,499,101	7,510,022	7,533,803	7,534,632
一日一車均	輸送人員	446.0	425.8	398	381.5	370.0
	走行キロ (Km)	114.0	103.4	113.6	113.5	114.3
	乗車料収入 (円)	44,395	44,820	44,408	45,046.8	46,638.6
表定速度 (Km/H)		13.9	13.9	13.9	13.9	13.9

(注) 表定速度は総所要時分から起終点の調整時分を差し引いて計算した

(2) 営業路線

年度 事項		56	57	58	59	60
免許路線 (Km)		153,095	158,585	161,415	161,315	159,400
営業路線 (Km)		153,095	158,585	161,415	158,515	159,400
休止路線 (Km)		0	0	0	3.35	0
停留所数 (カ所)		413	420	433	434	431
停留所距離	最長 (Km)	0.9	0.9	1.1	1.1	1.1
	最短 (Km)	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
	平均 (Km)	0.372	0.378	0.375	0.372	0.370
運系統転数	路線 (路線)	26	26	26	26	25
	系統数 (系統)	123	124	126	126	130
運距転系統離	総長 (Km)	1,018.0	1,036.1	1,058.0	1,070.8	1,141.6
	最長 (Km)	1.80	1.86	1.86	1.86	1.86
	最短 (Km)	2.5	2.5	2.5	2.5	1.6
平均 (Km)		8.3	8.4	8.4	8.5	8.9

(3) バス専用レーン

(昭 61.4.1 現在)

区 間		距 離		適 用 時 間
専 用 レ ー ン	水前寺公園前～熊本城前交差点	上・下	6.1 ^{Km}	ラッシュ時間帯 7:00～9:00 17:00～19:00
	明午橋通り～水道町交差点	上・下	1.1	水道町交差点(上り) } バスの運 熊本城交差点(上り) } 行時間中 浄行寺交差点(下り) }
	南熊本駅前～辛島町交差点	上・下	3.0	
	浄行寺交差点	下	0.1	
	浄行寺～明午橋通り	上・下	0.9	ラッシュ時間帯 7:00～9:00 17:00～19:00
	水前寺駅通り～水前寺駅前	上	0.4	ラッシュ時間帯 7:00～9:00 17:00～19:00
	大江渡鹿交差点～子飼橋際	上・下	1.0	ラッシュ時間帯 7:00～9:00 17:00～19:00
	計		12.6	

(4) 在籍車両数

年 度 車 両	56	57	58	59	60
ワ ン マ ン	199	199	199	197	192

(5) 路線別運輸成績

(昭和 60 年度)

路線 番号	路 線 名	走行キロ Km	乗 車 人 員 千人	収 入 千円	費 用 千円	差 引 千円	キロ当たり収支		
							収 入 円	費 用 円	差 引 円
1	第 1 環 状 線	556,990	2,598	353,201	316,485	36,716	634.12	568.21	65.91
2	第 2 環 状 線	463,102	1,382	223,632	278,196	△54,564	482.90	600.72	△117.82
3	池 田 大 窪 線	320,811	1,386	188,823	166,432	22,391	588.58	518.79	69.79
4	小 峯 京 塚 線	713,985	3,038	500,634	396,008	104,626	701.18	554.64	146.54
5	川 尻 帶 山 線	913,166	2,584	518,138	450,508	67,630	567.41	493.35	74.06
6	島 崎 保 田 窪 線	465,467	1,857	307,515	251,104	56,411	660.66	539.47	121.19
7	長 嶺 子 飼 線	90,033	209	41,970	48,663	△ 6,693	466.16	540.50	△ 74.34
8	楠 城 西 校 線	830,160	2,579	426,809	455,422	△28,613	514.13	548.60	△ 34.47
10	野 口 健 軍 線	484,127	1,090	205,613	253,018	△47,405	424.71	522.63	△ 97.92
11	御 幸 木 部 線	192,281	548	100,459	98,591	1,868	522.46	512.74	9.72
12	花 園 柿 原 線	258,851	1,108	158,009	148,039	9,970	610.42	571.91	38.51
13	川 尻 線	271,061	480	107,191	135,520	△28,329	395.45	499.96	△104.51
14	画 図 線	268,066	782	142,924	134,717	8,207	533.17	502.55	30.62
15	池 田 健 軍 線	野口健軍線に含む							
16	健 軍 長 嶺 線	東町団地線に含む							
17	川 尻 土 河 原 線	川尻線、野口健軍線に含む							
18	東 町 団 地 線	181,841	309	61,983	90,369	△28,386	340.86	496.97	△156.11
19	中 央 環 状 線	117,494	305	51,683	68,768	△17,085	439.88	585.29	△145.41
20	昭 和 町 線	213,384	519	98,584	114,214	△15,630	462.00	535.25	△ 73.25
21	高 平 団 地 線	85,434	210	40,301	48,141	△ 7,840	471.72	563.49	△ 91.77
22	熊 本 駅 県 庁 線	42,072	149	23,541	29,057	△ 5,516	559.54	690.65	△131.11
23	上 熊 本 線	161,212	405	71,806	94,770	△22,964	445.41	587.86	△142.45
24	長 溝 団 地 線	107,515	279	46,372	66,676	△20,304	431.31	620.16	△188.85
25	上 熊 本 車 庫 線	池田大窪線、花園柿原線に含む							
27	本 山 線	川尻線に含む							
合 計		6,737,052	21,817	3,669,188	3,644,698	24,490	544.63	540.99	3.64

(注) 乗客 1 人当たり運賃収入

定期外 128円99銭

定 期 113円27銭

全 体 126円05銭

(6) 運 賃（昭和59年10月1日改定）

ア 普通旅客運賃

種別 制度	運 賃		最低運賃		特 殊 運 賃
	大 人（中学生以上）	小児（小学生以下）	大人	小児	
対キロ区間制	最初の2キロまでは賃率 52円80銭、2キロを超 え15キロまでは賃率26 円40銭、15キロを超え 30キロまでは賃率23円 80銭として計算した額	大人運賃の半額、 ただし、10円 未満の場合は 10円に切り上 げ	100円	50円	身体障害者手帳の交付を受けて いる者及び介護人、諸施設によ り養護又は保護を受けている者 及び付添人並びに精神薄弱者及 び介護人で各々普通運賃の50 %割引

イ 定期旅客運賃

種 別		期 間	割 引 率
通 勤（大人）		1 カ月	当該区間の普通運賃を 6 0 倍したもののから 3 0 %割引
		3 カ月	1 カ月定期運賃を 3 倍したもののから 5 %割引
通 勤（小児）		1 カ月	通勤（大人）1 カ月定期運賃額を 5 0 %割引
		3 カ月	通勤（大人）3 カ月定期運賃額を 5 0 %割引
通 学 （高校生以上）		1 カ月	当該区間の普通運賃を 6 0 倍したものの（ 1 カ月以上 3 カ月未満のは数売りの） から 4 0 %割引（割引は 1 カ月と同率）
		3 カ月	1 カ月定期運賃を 3 倍したもののから 5 %割引（ 3 カ月以上のは数売りの割 引は 3 カ月と同率）
通 学 （中 学 生）		1 カ月	当該区間の普通運賃を 6 0 倍したものの（ 1 カ月以上 3 カ月未満のは数売りの） から 4 5 %割引（割引は 1 カ月と同率）
		3 カ月	1 カ月定期運賃を 3 倍したもののから 5 %割引（ 3 カ月以上のは数売りの割 引は 3 カ月と同率）
通 学 （小学生以下）		1 カ月	通学（中学生）1 カ月定期運賃額を（ 1 カ月以上 3 カ月未満のは数売りの） 5 0 %割引（割引は 1 カ月と同率）
		3 カ月	1 カ月定期運賃を 3 倍したもののから 5 %割引（ 3 カ月以上のは数売りの割 引は 3 カ月と同率）
通 勤 通 学		1 カ月	全区間往復乗車となる場合は、乗車区間の大人通勤定期運賃と通学（高校生以上）定期 運賃の合算額の 2 分の 1、その他は 4 分の 1（ 1 カ月以上 3 カ月未満のは数売りの割引 は 1 カ月と同率）
		3 カ月	1 カ月定期運賃を 3 倍したもののから 5 %割引（ 3 カ月以上のは数売りの） 割引は 3 カ月と同率）
身体 障 害 者	通 勤 （大 人）	1 カ月	通勤（大人）定期運賃額を 3 0 %割引
		3 カ月	1 カ月定期運賃を 3 倍したもののから 5 %割引
	通 学 （大 人）	1 カ月	通学（高校生以上及び中学生以上）定期運賃額を 3 0 %割引
		3 カ月	1 カ月定期運賃を 3 倍したもののから 5 %割引（ 3 カ月以上のは数売りの） 割引は 3 カ月と同率）
電車・自動車 共 通 定 期 券		1 カ月	電車と自動車路線が並行している区間を利用するもので、電車と自動車の定 期運賃のうちいずれか高額となる運賃
		3 カ月	
定期券の使用は記名人に限るものとする。ただし、通勤定期券について記名式以外は、当該通勤定期券を 持参する者も使用できるものとする			

ウ 回数旅客運賃（全券種電車・バス共通）

区分	券 種	内 容	適用方法	備 考
普通回数旅客運賃	1,000円券	100円×11枚綴	乗車区間の運賃額に合わせて使用	市電 市バス 九州産業交通㈱ 熊本電鉄㈱ 熊本バス㈱
	1,100円券	110円×11枚綴		
	1,200円券	120円×11枚綴		
	1,300円券	130円×11枚綴		
	1,400円券	140円×11枚綴		
	1,500円券	150円×11枚綴		
	1,600円券	160円×11枚綴		
	1,000円券 (ミックス券)	110円×10枚		
		120円×9枚と20円×1枚		
		130円×8枚と60円×1枚		
		140円×7枚と120円×1枚		
		150円×7枚と50円×1枚		
		30円×10枚と40円×10枚と50円×8枚		
通学回数旅客運賃	1,000円券	100円×13枚綴	乗車区間の運賃額に合わせて使用、学校又は身体障害福祉法に規定する諸施設に通学（通園）する者（身分証明書必要）	
	1,100円券	110円×13枚綴		
	1,200円券	120円×13枚綴		
	1,300円券	130円×13枚綴		
	1,400円券	140円×13枚綴		
	1,500円券	150円×13枚綴		
	1,600円券	160円×13枚綴		
	1,000円券 (ミックス券)	30円×10枚と40円×10枚と50円×12枚		

5 経 営 状 況

(単位 円)

事 項 \ 年 度		56	57	58	59	60
軌 道 事 業	総 収 益	1,330,054,243	1,575,323,975	1,573,306,256	1,763,596,076	1,508,509,932
	乗 車 料 収 入	896,162,724	923,730,842	947,794,989	949,508,607	975,396,052
	そ の 他 収 入	433,891,519	651,593,133	625,511,267	814,087,469	533,113,880
	総 費 用	1,256,824,495	1,549,642,158	1,514,202,804	1,720,042,636	1,488,084,471
	人 件 費	936,877,092	1,236,800,965	1,185,510,142	1,362,306,107	1,122,571,191
	減 価 償 却 費	53,437,485	53,752,225	69,061,510	82,434,487	85,641,879
	電 力 費	78,317,224	78,536,942	82,068,547	83,576,022	86,076,272
	支 払 利 息	74,612,599	63,416,470	60,200,315	56,289,387	61,261,429
	修 繕 費	38,897,827	42,665,049	45,375,636	57,010,021	51,561,171
	そ の 他	74,682,268	74,470,507	71,986,654	78,426,612	80,972,529
	単 年 度 損 益	73,229,748	25,681,817	59,103,452	43,553,440	20,425,461
	剰余金又は累積欠損金	△778,501,874	△657,876,602	△447,493,435	△273,427,105	△153,258,488
自 動 車 運 送 事 業	総 収 益	3,079,007,985	3,270,510,408	3,373,624,426	3,598,017,865	3,669,187,759
	乗 車 料 収 入	2,700,101,810	2,737,171,950	2,748,667,965	2,749,838,235	2,750,140,780
	そ の 他 収 入	378,906,175	533,338,458	624,956,461	848,179,630	919,046,979
	総 費 用	3,048,027,472	3,249,233,799	3,361,235,402	3,547,810,381	3,644,697,890
	人 件 費	2,165,119,963	2,329,445,064	2,493,818,938	2,700,816,696	2,785,187,821
	減 価 償 却 費	222,021,302	251,220,943	216,204,467	220,845,706	220,664,839
	燃 料 費	275,352,000	292,701,900	265,194,000	249,602,000	237,659,400
	支 払 利 息	73,577,710	65,230,158	72,741,233	63,414,259	54,465,267
	修 繕 費	76,688,881	70,480,326	77,202,144	90,829,527	102,420,663
	そ の 他	235,267,616	240,155,408	236,074,620	222,302,193	244,299,900
	単 年 度 損 益	30,980,513	21,276,609	12,389,024	50,207,484	24,489,869
	剰余金又は累積欠損金	306,290,830	605,039,605	1,133,490,459	1,033,711,086	886,852,434
計	総 収 益	4,409,062,228	4,845,834,383	4,946,930,682	5,361,613,941	5,177,697,691
	乗 車 料 収 入	3,596,264,534	3,660,902,792	3,696,462,954	3,699,346,842	3,725,536,832
	そ の 他 収 入	812,797,694	1,184,931,591	1,250,467,728	1,662,267,099	1,452,160,859
	総 費 用	4,304,851,967	4,798,875,957	4,875,438,206	5,267,853,017	5,132,782,361
	人 件 費	3,101,997,055	3,566,246,029	3,679,329,080	4,063,122,803	3,907,759,012
	減 価 償 却 費	275,458,787	304,973,168	285,265,977	303,280,193	306,306,718
	電力費・燃料費	353,669,224	371,238,842	347,262,547	333,178,022	323,735,672
	支 払 利 息	148,190,309	128,646,628	132,941,548	119,703,646	115,726,696
	修 繕 費	115,586,708	113,145,375	122,577,780	147,839,548	153,981,834
	そ の 他	309,949,884	314,625,915	308,061,274	300,728,805	325,272,429
	単 年 度 損 益	104,210,261	46,958,426	71,492,476	93,762,924	44,915,330
	剰余金又は累積欠損金	△472,211,044	△ 52,836,997	685,997,024	760,283,981	733,593,496

(注) 特別損益は除く

6 職員数及び給与

(1) 部門別職員数

(昭61.4.1現在)

職種別	部門別 性別		一 般 管 理			電 車			バ ス			計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計		
特 別 職	1		1							1		1		
事 務 職	15	6	21	10		10	19	1	20	44	7	51		
技 術 職				31		31	19		19	50		50		
運 転 手				72		72	276		276	348		348		
車 掌				5		5				5		5		
そ の 他		1	1	18	1	19	24	1	25	42	3	45		
計	16	7	23	136	1	137	338	2	340	490	10	500		

(2) 部門別1人月平均給与額等

(昭61.4月分)

事 項	部門別	一 般 管 理	電 車	バ ス	計
基 本 給 (円)		320,318	230,722	288,174	274,078
特殊勤務手当 (円)		27	6,317	10,120	8,646
超過勤務手当 (円)		37,470	10,667	46,110	36,151
その他の手当 (円)		15,524	10,866	9,505	10,140
合 計 (円)		373,339	258,574	353,909	329,015
年 齢 (才)		49.8	40.11	49.0	46.10
勤 続 年 数 (年)		26.7	14.7	21.3	19.7

(注) 合計欄は特別職を除く

7 施 設

施設名	事 項	面 積	施 設 内 容
交 通 局		11,473 m ²	事務所 電車車庫 車両整備工場 電車大江詰所
小 峯 営 業 所		16,388	営業所 バス車庫
小 峯 整 備 工 場			整備工場
上 熊 本 営 業 所		11,062	営業所 整備工場
本 山 営 業 所		5,913	営業所 バス車庫

